

地方紙における J リーグ報道の在り方

和泉 慶太 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 後藤 英文

キーワード：地方紙，J リーグ，地域密着

1. 緒言

近年の J リーグは J3 にまでカテゴリーが増え、地方クラブにも焦点が当たるようになってきた。その中で全国紙では注目を浴びない地方クラブを情報発信の面で支えている地方紙の役割というのは非常に重要になってくる。

本研究では J クラブ所在地の地方紙報道の調査を進め、「地域密着」という共通の理念を掲げる J リーグクラブと地方紙の関係性を明らかにしていくことをテーマとする。

2. 研究方法

1) 調査方法

インタビュー調査

自由回答形式で J リーグ報道に関する質問を用意する。

紙面調査

J クラブ所在地の地方紙サッカー記事を中心に調査。

2) 調査対象者

地方紙サッカー担当記者

全国紙サッカー担当記者

J クラブ広報担当者

3) 調査時期

2016 年 8 月～11 月

3. 結果と考察

地方紙 KY 新聞社サッカー担当者と地方紙 KO 新聞社サッカー担当者にインタビュー調査を実施。2 紙ともに地域密着の理念を念頭に取材、編集を行っており、地元を盛り上げるため、地元サッカーの振興に役立てればと思い報道している、といった回答が得られた。

京都市に本拠地を置く J クラブの広報担当

は「クラブの考え方としては共存共栄というのが一番正しい方向だと思う。我々サッカークラブは地域の発展と活性化に寄与することを大義として掲げている以上地元京都に幅広く情報共有していただくということを考えれば間違いない」と述べている。

調査の結果 J クラブ側も地方紙と同じ考えを共有していることが分かった。その一方で「地元の選手だから大きく取り扱うが批判的なことをしっかり書けるのかというのが重要」と全国紙のサッカー担当記者は述べている。

4. 結論

「共存共栄」、「地域活性化」というキーワードが示すように、地元紙が紙面を通じて地元サッカーやスポーツの発展と地元地域の活性化に貢献することが重要な役割であると考えることが出来る。地域密着を掲げる地方紙と J クラブが友好関係を築かないこと自体が不自然であり、J クラブが地域に根差した活動を地道に続け、そのプロセスや結果を地方紙が取材し記事にするという関係性はごく自然な形であると考えられる。

地方紙は単なる「サポーター」ではいけない。「物言うサポーター」であるべきである。今後の J リーグはクラブを取り巻くすべての関係者がお互いに良い作用を生み出し一体となって成長していくことが必要不可欠となる。

引用・参考文献

J リーグ公式ホームページ

<http://www.jleague.jp/> (2016/5/10 アクセス)

KO 新聞 2016 年 2 月 28 日 朝刊

KY 新聞 2015 年 11 月 24 日 朝刊